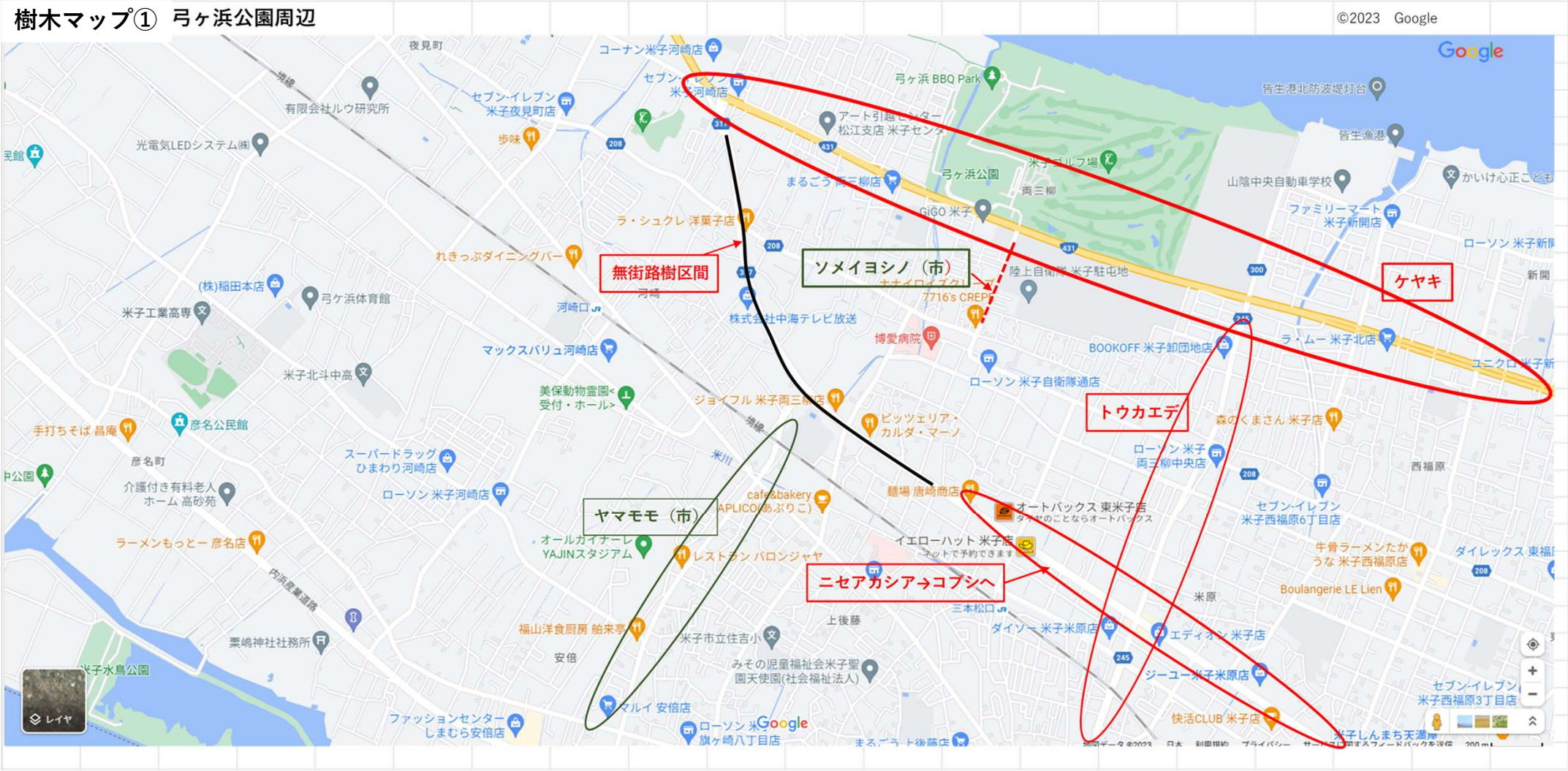
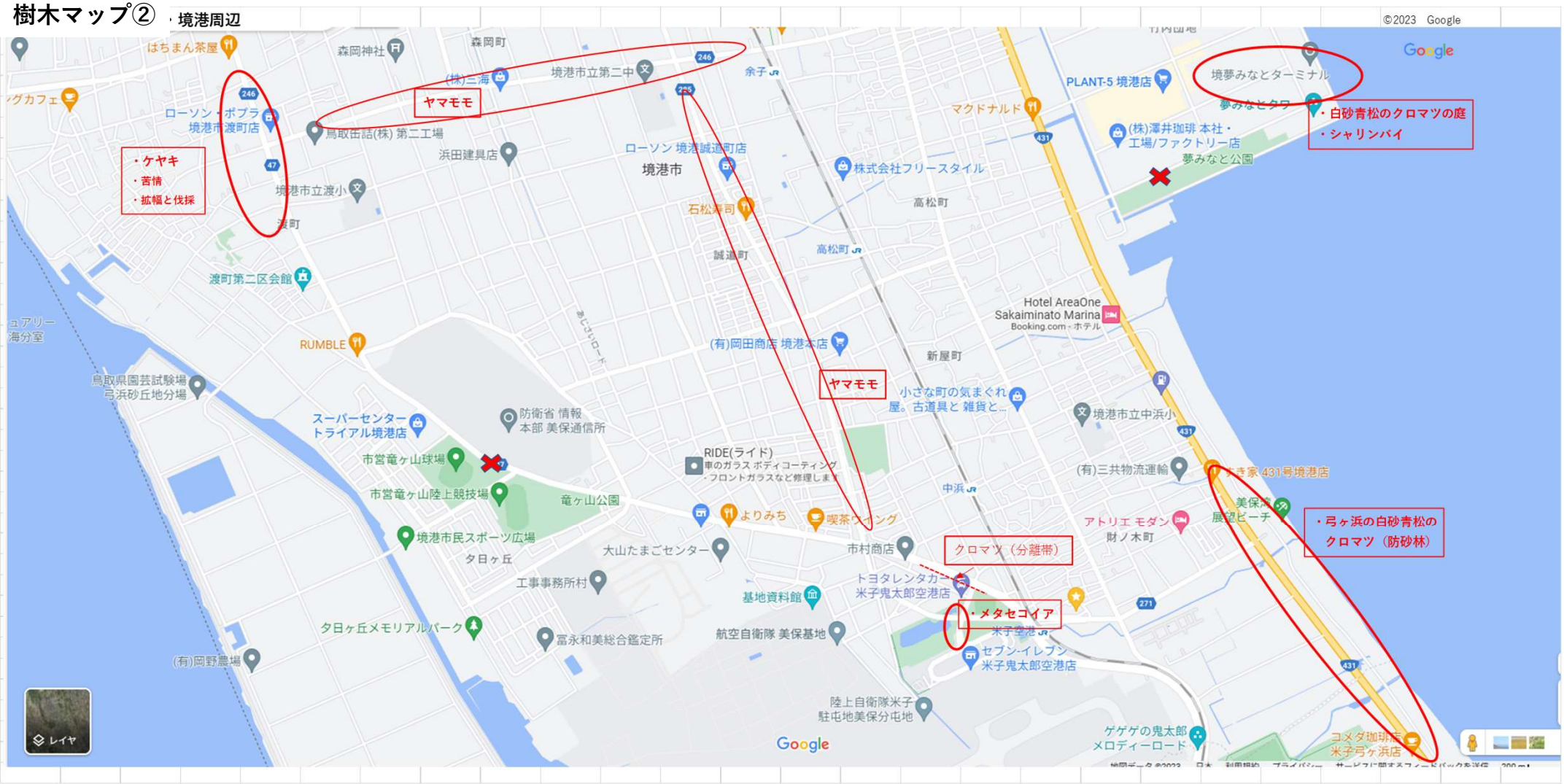
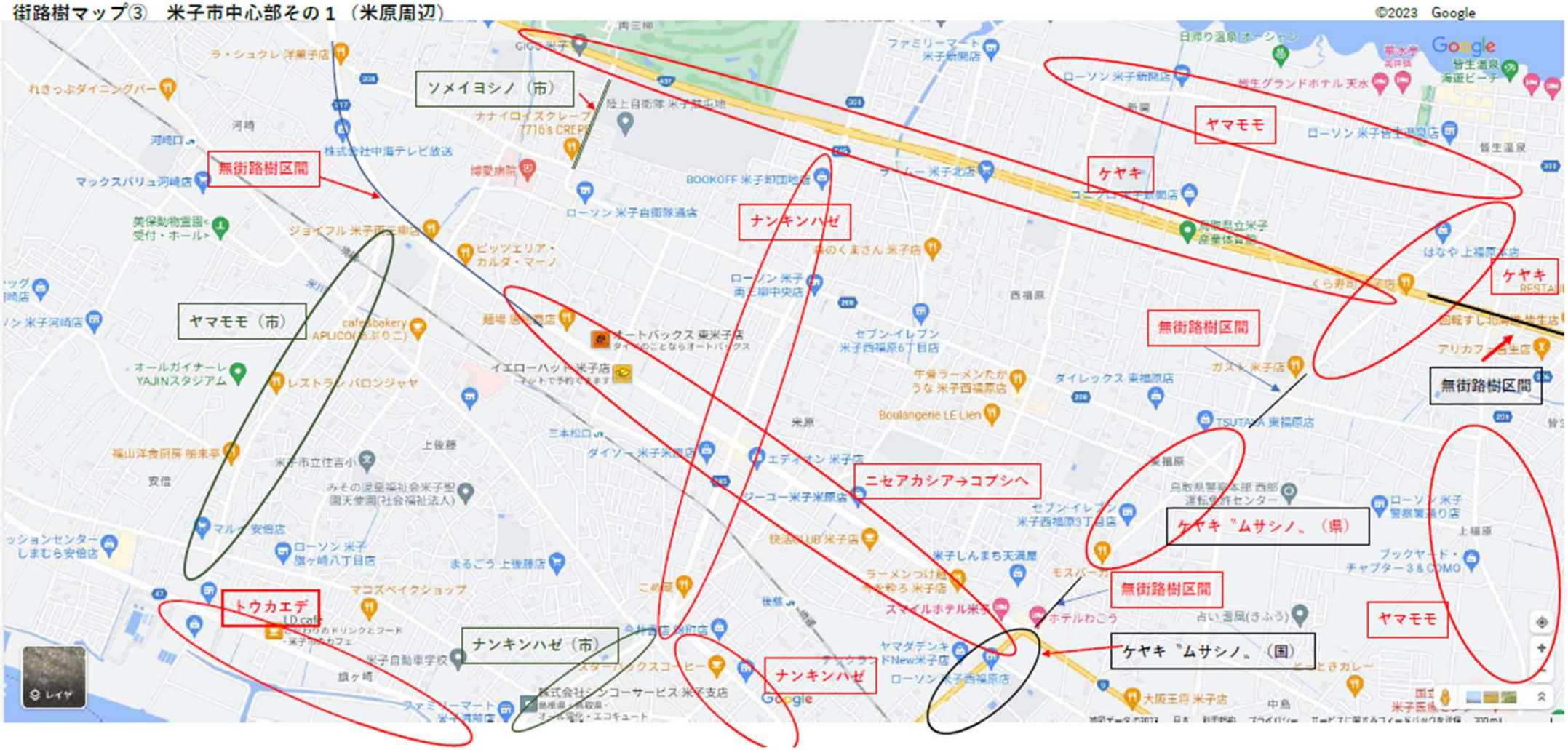
樹木マップ① 弓ヶ浜公園周辺



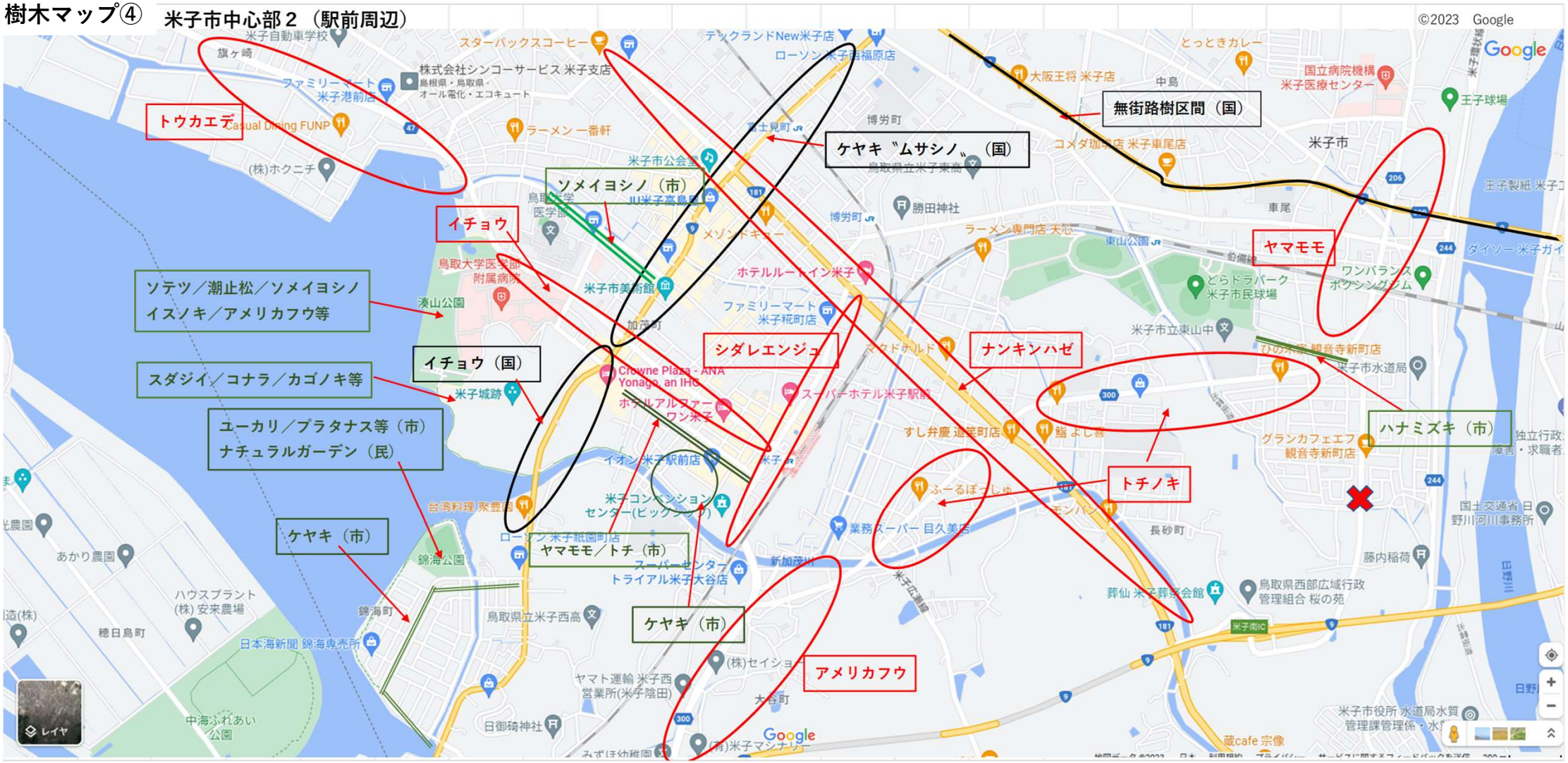
樹木マップ②


境港周辺
©2023 Google
ヤマモモ
・ケヤキ
・苦情
・拡幅と伐採
ヤマモモ
・白砂青松のクロマツの庭
・シャリンバイ
クロマツ（分離帯）
・メタセコイア
・弓ヶ浜の白砂青松の
クロマツ（防砂林）
はちまん茶屋
森岡神社
森岡町
(株)三海
境港市立第二中
余子
ローソン・ポプラ
境港市渡町店
鳥取缶詰(株) 第二工場
浜田建具店
境港市立渡小
渡町
渡町第二区会館
RUMBLE
鳥取県園芸試験場
弓浜砂丘地分場
スーパーセンター
トライアル境港店
防衛省 情報
本部 美保通信所
市営竜ヶ山球場
市営竜ヶ山陸上競技場
竜ヶ山公園
境港市民スポーツ広場
夕日ヶ丘
大山たまごセンター
工事事務所村
夕日ヶ丘メモリアルパーク
富永和美総合鑑定所
(有)岡野農場
ローソン 境港誠道町店
境港市
石松寿司
誠道町
高松町
株式会社フリースタイル
高松町
マクドナルド
PLANT-5 境港店
境夢みなとターミナル
夢みなとタワー
(株)澤井珈琲 本社・
工場/ファクトリー店
夢みなと公園
Hotel AreaOne
Sakaiminato Marina
Booking.com - ホテル
(有)岡田商店 境港本店
新屋町
小さな町の気まぐれ
屋。古道具と 雑貨と...
境港市立中浜小
RIDE(ライド)
車のガラス ボディコーティング
・フロントガラスなど修理します
よりみち
喫茶ウイング
中浜
(有)三共物流運輸
美保関
展望ビーチ
アトリエ モダン
財ノ木町
市村商店
トヨタレンタカー
米子鬼太郎空港店
基地資料館
航空自衛隊 美保基地
米子空港
セブン-イレブン
米子鬼太郎空港店
陸上自衛隊米子
駐屯地美保分屯地
ゲゲゲの鬼太郎
メロディーロード
コメダ珈琲店
米子弓ヶ浜店
レイヤ
Google

街路樹マップ③　米子市中心部その１（米原周辺）



樹木マップ④　米子市中心部２（駅前周辺）



ケヤキ　落葉高木　ニレ科ケヤキ属

国道４３１号ほか

市民に愛される米子けやき通りの新緑と紅葉

街の骨格を形成する市道錦海町中央線のケヤキ

- 国道431のケヤキ並木は、仙台の定禅通りのケヤキに憧れ１９８８年（昭和６３年）に完成
- 市民アンケートの「大切にしたい景観」の第２位に選ばれるほどの街路樹となっている。（第１位は大山）
- 米子ケヤキ通り振興会の清掃ボランティアや花壇管理によって地域に愛され、ケヤキ祭り、ウォーキング大会、フォトコンテストなどの取り組みによって地域と緑が一体になった賑わいを創出している。
- 市道では錦海町のケヤキ並木は団地の象徴的な存在

クロマツ　常緑針葉樹　マツ科マツ属

境夢みなとターミナルほか

境夢みなとターミナル

在りし日の潮止松

豪雪被害から再生中の弓ヶ浜のクロマツ林

- 夢みなとターミナル　大型クルーズ船の観光客を出迎えるため、山陰らしい白砂青松をイメージしたスポットがオープン。国内外の訪問客はもちろん、９本の松を見るのを楽しみに来る人も増え始めている。協会では技術承継の場としての利用も。

- 潮止の松　鳥取大学医学部付属病院横には米子市の天然記念物に指定されている江戸時代に植えられた潮止松があり、豪雪被害で代表的な１本が倒伏。再生に取り組んだものの枯損し、現在残っている潮止松も状態は良くない。

- 弓ヶ浜半島の松林　日本の白砂青松１００選に選ばれた弓ヶ浜の松林。豪雪被害からボランティア活動によって再生中。米子大山線の松同様に歴史と文化を象徴する景観となっている。

ニセアカシア　落葉高木　マメ科　ハリエンジュ属

コブシ　落葉高木　モクレン科　モクレン属

外浜産業道路（西福原⇔米原）

内浜産業道路に残るニセアカシア

少しづつであるがコブシへ更新中。早春の街を飾る

- 東京で明治時代に初めて導入された外来植物の街路樹
- 環境適応力が高く荒廃防止や肥料木として日本に入ってきたが放置すると野生化し、他の植物を駆逐する傾向にある。（侵略的外来種、要注意外来生物リスト）
- 浅根性で腐朽が入りやすく強風で倒れることも多い
- 萌芽力が強いため繁る→強剪定→樹形の乱れ→衰弱
- 成長の穏やかで花の美しいコブシへの樹種更新を計画するも近年は年に数本程度しか進んでいない

ケヤキ〝ムサシノ〟

国道９号（西福原⇔加茂町）

竹箒を逆さにしたような樹形

強剪定すると乱徒長する

- 昭和４６年ごろ埼玉県日高市の畑で偶然発見された。一般のケヤキのように放射状に広く枝幅が広がらないタイプのケヤキ。交通の支障になりにくいという理由から全国的に街路樹としての普及が進んだ。

- ただし不適切な強剪定をすると他の樹木同様に一斉に萌芽しヤナギのように垂れ下がり景観も悪く交通視距を阻害することになる。

米子城跡の植生

自然観察フィールドとしても楽しい米子城跡

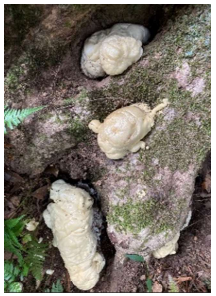
カゴノキ

伐採後の初期植生

大クス（伐採予定）

ミズヒキ

ホトトギス



What？

オオゴキブリ！

イチョウ　落葉高木イチョウ科イチョウ属

国道９号（久米町⇔祇園町）、駅前通り（駅前⇔加茂町）

米子駅前通り

国道９号　深浦橋付近

- 全国の街路樹で一番多い樹種（５２万本）。１億７千万年前から存在する生きる化石。でも自然界では絶滅の危機。
- 駅前通りは整備の際に大阪御堂筋のような景観を目指したとされる。
- 当時とは街（商店）の様子も変わったり、住人も変わり落葉への苦情も少なくないが、夏の緑陰や新緑黄葉は米子の玄関口として風格がある。
- 実の銀杏は苦情もあるが喜んで拾っている人もいる。鳥取県米子県土整備局では集めて洗って県民に提供。
- ９号線は植栽桝が極めて狭いため根の行き場を失い歩道を持ち上げたり幹が太れず樹勢が弱っているものも。
- 駅前では竹箒を設置して地元の人に落葉掃きをしてもらっているところもある。

シダレエンジュ　落葉高木　マメ科エンジュ属

米子広瀬線　米子駅⇔糀町

米子広瀬線　駅前～西部総合事務所間

ひっそりと咲く花（６月撮影）

水木しげるロード移植直後

- 日本国内で街路樹としてシダレエンジュがあるのは大変珍しく貴重。
  大きな成木は流通がほぼなくなり、入手できてもこの街路樹クラスになると１本百万円は下らないとか。

- 米子駅から県西部総合事務所までの区間に７０本ほどの立派なシダレエンジュが植わっていたが、
  ２０１７年ごろに境港市から「妖怪のイメージに合う」との要望で水木しげるロードへの譲渡が決まり、
  ２０１８年に半分近くの３４本が移植されてしまった。

- 真夏に風に揺れる枝先は涼感を醸成し、特徴のある樹冠の作り出す緑陰は歩道を歩く人を癒している。

ナンキンハゼ　落葉高木　トウダイグサ科ナンキンハゼ属

国道１８１号（長砂⇔立町）ほか

国道１８１号　昭和橋付近より

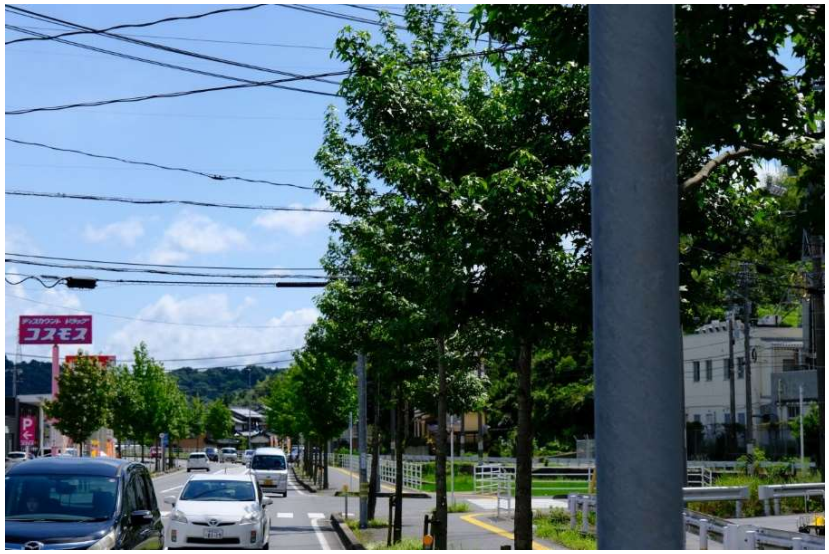
紅葉も楽しめます

冬に花が咲いたように白い種子をたわわにつける

- 種子に油分が多く和ろうそくの材として使われていた。実際よく燃えます。
- 紅葉のグラデーションも美しく、暗い山陰の冬を白い実が花が咲いたように華やかにしてくれる。
- 冬季剪定しているとリースやドライフラワー、活け花の材料に欲しいという方続出。
- なぜか米子市内は県道、市道にも多いです。（排ガスなどの悪環境に強いから？）
- 鳥は好むが哺乳動物は食べず鹿の食害がないため奈良公園に植えられた結果大繁殖。

アメリカフウ（モミジバフウ）　落葉高木　フウ科フウ属

米子中IC⇔大谷町⇔目久美町⇔美吉



米子環状線（目久美町）のアメリカフウ

紅葉のグラデーションと美しい樹形が街を彩る
（山陰道米子中IC付近　※現在は伐採されている）

横幅2m超の余裕のある植栽桝

リース材料として
人気のある実

- ２０１２年に県西部総合事務所で将来的な健全な街路樹の育成を目指して策定された「街路樹ガイドライン」に則り、モデルケースとして道路拡幅計画で植栽基盤（土壌）に余裕を持たせて設計した。そのため生育が順調で根が舗装を持ち上げたりすることも今のところほとんど確認されない。
- 黄葉から紅葉へのグラデーションが美しい。
- 真っすぐな樹形は遠近法的な視覚効果で奥行きある景観をつくり、落葉後の姿も美しい。
- 実はリースとしての利用や、観賞用のエビの住処として販売もされている。

トチノキ　落葉高木　トチノキ科トチノキ属

米子環状線　美吉⇔道笑町⇔観音寺新町

米子環状線　陽田町付近

拾った実（９月末）

- 言わずと知れた栃餅のトチ。でも灰汁抜き加工は大変な作業。
- たんぱく質などの栄養は豊富なため縄文時代から貴重な食糧で、江戸時代は飢饉の際に飢えを癒した記録が残る。
- ５枚の葉っぱが集まって一つの葉を構成する掌状複葉は、コシアブラやヤマウコギなど限られた数種類にしかなく珍しい。似た大きな葉を持つホオノキは輪状になっているだけでそれではない。
- 有名絵本「モチモチの木」のモチモチはトチ
- 冬芽は透明な樹脂で覆われていて触ると粘度があってベタベタする。冬の低温や虫や鳥による食害から芽を守っていると考えられている。
- 銀座マロニエ通りへの憧れから植えられたのだろうか？しかし元が山地の樹なので水切れや暑さに弱く状態はあまりよくない。

ヤマモモ　常緑高木　ヤマモモ科ヤマモモ属

皆生車尾線　車尾⇔皆生　ほか

県道米子空港境港停車場線　幸神町付近

市道安倍両三柳線　市民の清掃ボランティアに感謝！

- 全国的には１８番目と少なめだが米子には多く植えられている。市道にも多い。
- 地下水位が高く風が強い場所での成長が芳しくない。
- 雌雄異株で雌木の実の落下は歩道を汚し評判は芳しくないこともあるが、ジャムやスイーツの加工品はとてもおいしい。
- 街路樹の実を集め、NPO法人あかりさんが作り２０１６年に販売したムース。なんと２５０円でした！
- 近年傷みが目立つようになってきている。

あかりさんのムース！

ちょっと気になる樹木たち①

米子鬼太郎空港前になぜか
メタセコイア

イチョウよりさらにさかのぼる２億年前から存在する生きた化石。なぜかあまり大きくならない。

意外と少ないソメイヨシノ

国内の街路樹でサクラ類は２番目に多いが県西部の街路樹ではあまりない。写真は市道加茂川沿い。

意外と多いトウカエデ

県道、市道とも多い。おそらく、排気ガスなどの悪環境に強い、紅葉が楽しめる、といった理由からであろう。

県のレッドリスト登録
のシャリンバイ

野生種は絶滅危惧Ⅱ類に位置づけ。街路などに植えられているのは園芸品種。交雑を心配する声もある。

ちょっと気になる樹木たち②

倉吉のマメナシはニューヨーク生まれ！！

倉吉の二十一世紀梨記念館前の街路樹は、珍しいマメナシの並木
毎年桜とほぼ同じ時期に満開となり、清楚で白い花が美しすぎる！

実はこのマメナシ、ニューヨークのマンハッタンのマメナシから採取した穂木を日本に持ち帰り育てたクローン。（元はアジア原産なのだが）

梨記念館前で満開の様子

ちょっと気になる樹木たち③

日本最古の街路樹遺構発見場所は鳥取県！

平成２５～27年の青谷横木遺跡の発掘調査で古代山陰道に沿っておよそ１００ｍの区間に列状に並んだ樹木の根が発見された。
鑑定の結果、１０世紀後半（平安時代）の柳の根と判明。
奈良・平安時代に街路樹が存在していたことは和歌などの文献では確認されていたが、実物が発見されたのはこれが日本初。
状態が良くなくて保存できなかったのが残念！

画像:鳥取県埋蔵文化財センター

律令時代の現地のイメージ